

温室効果ガス削減計画

**1 事業の概要**

- (1) 事業所の名称  
広島化成株式会社 本庄工場
- (2) 事業所の所在地  
広島県福山市南本庄1丁目5番21号
- (3) 業種  
1821 プラスチックフィルム製造業
- (4) 事業所位置図  
別紙（平面図）のとおり

**2 計画の期間**

本計画の期間は、平成24年度を基準とする平成25年度から平成28年度までの4年間とする。

**3 計画の基本的な方向**

広島化成株式会社は、地球環境保全が人々の課題であると認識し、環境保全に積極的に取り組み継続的な推進を図ります。

<方 針>

プラスチックフィルム製品の設計・開発、製造、販売を事業活動としていることを踏まえ、以下の活動を履行し環境汚染の防止に努めます。

1. 資源の循環と廃棄物の低減（含歩留向上）（含ゴムリサイクル率の向上）
2. 省エネ活動の推進（含生産性向上）（含地球温暖化対策）
3. 環境に配慮した製品の提供（環境配慮型製品の売り上げ拡大）
4. 環境負荷物質の管理と低減（含IMDS, REACH, MSDS対応, グリーン調達）の推進
5. 環境教育・啓発の強化

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		平成2年度	基準年度 平成 24年度	直近年度 平成 25年度
二酸化炭素	燃料の使用	3,809	2,756	2,512
	電気事業者から供給された電気の使用	6,152	4,745	5,393
合 計		9,961	7,501	7,905

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素				
合 計				

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン				
一酸化二窒素				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
合 計				

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：付加価値額

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量(百万円)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成24年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成28年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	7,501	1,097	6.84	4.0	7,351	1,121	6.56
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	2,831	1,097	2,581				
目標設定の考え方	エネルギー起源CO <sub>2</sub> は原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料使用量の1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暖房温度の適正管理</li> <li>・蒸気配管の保温カバーの強化</li> </ul>
2	電気使用量の削減	電気使用量の1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房温度の適正管理 ・休憩時間の消灯の徹底</li> <li>・高圧コンプレッサーを低圧に変更（インバータ化）</li> <li>・モーター駆動制御のインバータ化</li> <li>・高効率照明，LEDへの更新</li> </ul>
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は，数値目標欄の記載例中，「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

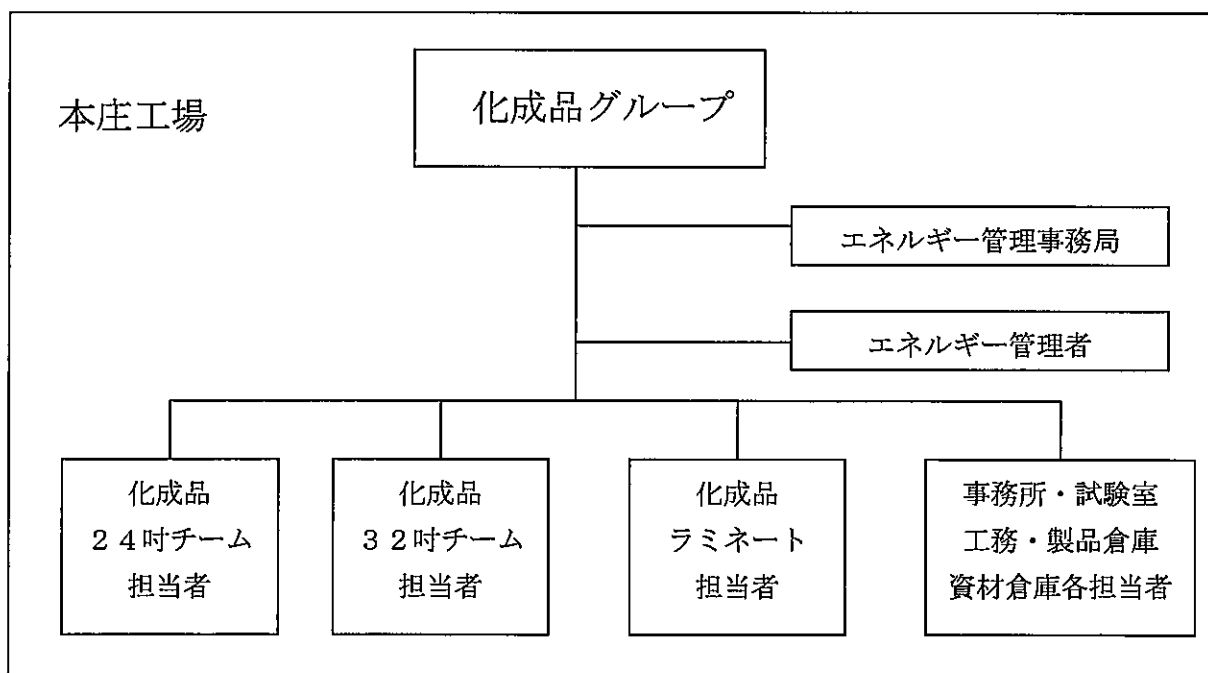
### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピー、裏面利用</li> <li>・分別収集及び資源化の徹底</li> </ul>
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

施設部を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握、点検及び問題点の検討を行い、エネルギー管理委員会において定期的に評価、見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画の公表

公表方法は、施設部事務所への備え付けによる閲覧とする。